

# 講 義 内 容

## 英語教育研究

English Teaching 2単位

英語教育の理念やあり方は、理論、実践、政策の各方面において大きく変わってきた。新たな外国語教育政策は次から次へと打ち出され、その対応も急務である。ここでは、英語教育・英語学習の各論についての研究を深めながら、発展的な研究の可能性を探る。英語教育政策、授業実践、教科書、等の情報については随時提供していきたい。

## 英語教材論研究

English Teaching Materials 2単位

外国語の教材には「教科書」からメディア教材にいたるまでさまざまなものがある。しかし基本はテキストと呼ばれる教科書である。ここでは、文部科学省の検定教科書を基本にすえて、その理念や内容、使い方等について、体験をしながら理解を深める。また、教材に関連させて、教科書の題材、言語材料、言語活動、シラバスなどについても掘り下げた研究を行う。

## 早期英語教育研究

Early English Teaching 2単位

音声の指導は早期英語教育にとって重要な位置を占める。本講座では早期英語教育を行う教員、あるいは早期英語教育のコーディネーターになることを想定して、早期英語学習における音声指導の実態を概観するとともに、teaching skillsの実習を併せて行う。

## 英語授業論研究

English Teaching Skills 2単位

この授業では、実際の指導ができるように以下の5つの分野において理論と実践（プレゼン）の指導を行う。

1. 語彙指導法
2. 音声指導法
3. 読みの指導法
4. コミュニケーションの指導法
5. 英語だけで教える指導法

## 言語政策研究

Language Policy 2単位

The course will give you an overview of language planning and policy and their influence on our daily life. After a brief introduction on key concepts, we will discuss various issues described in the textbook by assigning each student to give a brief presentation in which s/he relates the discussion in the textbook to the situation in Japan. The course will be conducted in English.

## 心理言語学研究

Psycholinguistics 2単位

第一言語獲得における、特に子どもの音声言語獲得過程・理解・産出データの観察・分析を通して、自然言語の獲得過程及び言語理解と産出の仕組みを考える。生得的に与えられている言語知識とはどのようなものか、子どもの言語知識は大人の言語知識とどこが違うのか、第一言語と第二言語獲得過程及び理解と産出の発達プロセスは等しいのか、さらに、こうした理論から得られた知見は外国語教育への応用は可能なのか、など人間の言語

知識について様々な視点から考える。

## 認知言語学研究

Cognitive Linguistics 2単位

人間の言語活動を、形式ではなく、意味や認知(感覚と心の働きの総称) 処理機構を基にした経験や概念化の力によって説明する、認知言語学の基本概念と最新の理論を学習する。レイコフの認知意味論とラネカーの認知文法論を中心に、カテゴリー論の考え方や、語彙レベルの研究、構文レベルの研究について、包括的に扱う。

## 英語文法論研究

English Grammar 2単位

最近では膨大なコーパスを活用した文法研究が盛んに行われている。本講ではその成果を踏まえて、基本的な文法概念を、主として機能的な観点から再検討していく。検討を通して統語的概念が機能的・意味的概念と対応していることが理解されるであろう。文の情報構造や談話の流れ、話し手の視点などについても言及する。

## 英語音韻論研究

English Phonology 2単位

現代英語の音声を取り上げ、その分節素およびプロソディーの特性に関するこれまでの研究を概観することが本講の目的であるが、音声学および音韻論の基本概念を確認することから講義を始め、調音音声学・音響音声学の成果を踏まえつつ音韻論へと議論を展開していく。Chomsky and Halle, *The Sound Pattern of English* (1968)に至る音韻論の流れ、また、その批判・修正から出発したその後の音韻論の発展にも言及する。

## 英語語用論研究

English Pragmatics 2単位

This course will deal with current issues in applied linguistics with special attention to pragmatics. The topics include, but limited to, Semantics vs. Pragmatics, Corpus linguistics and Pragmatics, Cross cultural pragmatics, Discourse and Pragmatics, and Language Teaching and Pragmatics. The students will read various journal articles on the topic and give presentations. The course will be conducted in English.

## アメリカ文化研究

American Culture 2単位

文学研究科の学生として一度は手にしておくことが望まれる辞典・事典を使い慣れるために19世紀を代表する小説家ナサニエル・ホーソン(Nathaniel Hawthorne, 1804-64)の短編小説を精読する。またアメリカの19世紀初頭から中葉にかけての文化史をたどることも併せて行いたい。

## イギリス文化研究

British Culture 2単位

英国文化を(1)人種 (2)宗教 (3)演劇(シェイクスピア) (4)階級の4つの側面から観察し、英国文化の特徴を理解することを目標とする。その上で、4つの側面のうち、どれか1つを学生は選んで小論文を書くことが求められる。授業では、F.F. Halliday, *A Concise History of England* (1974)の該当箇所を読み、討論しながら各自のテーマの研究と理解を深めるようにしたい。

## 多文化研究

Multicultural Studies 2単位

ベルリンの壁が崩され、ソヴィエトが崩壊して以降それまで見えない存在とされてきた存在が顕

在化するようになった。また「インターナショナルライゼーション」は「グローバルライゼーション」となった。その結果、どんなに小さな国家にも多様な文化が存在し、またこれを無視してはならないという思想が現実化してきている。さまざまな文化それぞれを尊重し共生することを是とする思想「文化多元主義／多文化主義」の現実を、多民族国家として歴史を積み上げてきたアメリカをはじめオーストラリアやカナダに見る。

## 児童文学研究

Juvenile Literature

2単位

David L. Russellの*Literature for Children* (2005)のFantasyの章を中心に、必要に応じて各作品や評論の抜粋なども読みながら、ファンタジー児童文学の持つ意義や、現状について考える。ファンタジー児童文学作品を大まかに分類し、それぞれの特徴や著名な作品について解説していくと同時に、70年代までのファンタジー作品（例えばPhilippa Pearceの*Tom's Midnight Garden*、C.S. Lewisの*The Narnia chronicles*、E.B. Whiteの*Charlotte's Web*など）と、現代のネオ・ファンタジー作品（たとえばJ.K. Rowlingの*Harry Potter series*など）の差異についても考察する。

## 翻訳論研究

Translation Studies

2単位

翻訳というのは、原典を受け止めて解釈し、それを別の言語で表現し直す行為であるが、それは単語一つ一つの訳語がわかっているというものではない。言語の成り立ちや文法の違いだけでなく、文化的な差異にも目をむけなくては、特に文学作品の翻訳の場合、読むに耐えるような翻訳にはなり得ない。この授業では、実際に英語から日本語への翻訳を試みたり、古今の翻訳論に触れたりしながら、翻訳というものの本質について考えてみたい。

## 英語教育特殊研究

Special Topics in English Teaching

2単位

本講座では、実際の授業をビデオで視聴し、授業構成と授業を構成する題材、言語材料についてその役割を知る。また、授業の背景となる教科書や学習指導要領についても言及する。実際に言語材料を導入する実習を通して教材について理解を深める。最近、British National Corpusに代表する英語母語話者のコーパス情報を活用した教材が見受けられるが、学習者コーパスに焦点を当て、コーパスツールを駆使し、実際に教材を創作する。あわせて第二言語習得過程についても言及したい。

## 英語教育実践研究 A

Teaching Practice A

1単位

付設のK-12や教育委員会と連携して、実際の英語教育の体験を行う。この科目の履修に当たっては、事前に教務担当と協議し、実践終了後にはそれぞれの課題について文書で報告することが求められる。文学研究科委員会が審議し、妥当と認められれば単位が認定される。

## 英語教育実践研究 B

Teaching Practice B

1単位

付設のK-12や教育委員会と連携して、実際の英語教育の体験を行う。この科目の履修に当たっては、事前に教務担当と協議し、実践終了後にはそれぞれの課題について文書で報告することが求められる。文学研究科委員会が審議し、妥当と認められれば単位が認定される。

## 海外特殊研究 A

Overseas Special Studies A

2単位

夏期休暇などを利用して、海外の大学院またはそれに準じる機関で研究を行い、講座の修了書な

どの成績を証明するものが得られた場合に、文学研究科委員会が審議し、妥当と認められれば単位が認定される。

## 海外特殊研究 B

Overseas Special Studies B 2単位

夏期休暇などを利用して、海外の大学院またはそれに準じる機関で研究を行い、講座の修了書などの成績を証明するものが得られた場合に、文学研究科委員会が審議し、妥当と認められれば単位が認定される。

## 研究指導 I

Seminar on Research I 2単位

研究指導担当のもとでそれぞれのテーマに沿った研究を行い、修士論文の執筆をめざす。

## 研究指導 II

Seminar on Research II 2単位

研究指導担当のもとでそれぞれのテーマに沿った研究を行い、修士論文の執筆をめざす。

I

学修にあたって

II

事務手続き

III

教育課程表および  
講義内容  
文学研究科

IV

教職大学院

V

付録